

● 資料編



各ツールのデータファイルはこちらの二次元コードからダウンロードできます

多摩府中保健所ホームページ
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tamafuchu/hoken/kokoro/hikikomori#cmshikikomori0>



1 ひきこもり支援に関するアンケート

I. 貴機関でのひきこもり支援の概況について教えてください。	
1. ひきこもり支援に携わる職員の体制について教えてください。	
(1) 所属部署の相談支援に携わるスタッフ数と内訳を教えてください。(実数)	()人 うち、常勤()人/非常勤()人
(2) 所属しているスタッフの職種についてお答えください。 ※複数の資格をお持ちの方は複数回答でお答えください。	保健師()人・看護師()人・精神保健福祉士()人・ 医師()人・社会福祉士()人・心理士()人・ 教員()人・その他()人
2. ひきこもりの方に対して、貴機関で行っている支援の内容を教えてください。(令和〇年〇月～令和〇年〇月に対応した事例)	
(1) 令和〇年度の支援(相談)実績を教えてください。	
①実施している対応方法を選択してください。(複数選択可)	電話相談、面接相談、家庭訪問、同行支援、メール、LINE、その他()
②支援対象を選択してください。(複数選択可)	当事者・家族・その他()
③対応した支援(相談)件数を教えてください。	実()件/延()件
④③のうち、当事者の年代別の支援(相談)件数と性別の内訳を教えてください。(実数)	①12歳以下()件→男()件/女()件/性別不明()件 ②13～15歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ③16～18歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ④19～29歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑤30～39歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑥40～49歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑦50～59歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑧60～64歳()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑨65歳以上()件→男()件/女()件/性別不明()件 ⑩年齢不明()件→男()件/女()件/性別不明()件
⑤③のうち、初回相談時の主たる支援対象者はどなたでしたか。その件数を教えてください。(実数)	当事者：実()件 家族：実()件 関係機関：実()件 その他：実()件
⑥【⑤で「家族」から相談があった方にお伺いします】 家族の内訳について件数を教えてください。(実数)	父()件・母()件・兄姉()件・弟妹()件・ 祖父母()件・その他()件
⑦【⑤で「関係機関」から相談があった方にお伺いします】 当てはまる関係機関を選択してください。(複数回答)	①市役所(〇〇課、〇〇課、〇〇課、〇〇課) ②医療機関(病院・クリニック・訪問看護ステーション等) ③教育機関(小学校・中学校・高校・大学・専門学校等) ④福祉関連事業所(包括支援センター・社会福祉協議会・地域活動支援センター・通所事業所・相談支援事業所等) ⑤就労関連事業所(就労移行支援事業所・ハローワーク等) ⑥都機関(保健所・東京都ひきこもりサポートネット・東京都総合精神保健福祉センター等) ⑦その他()
(2) 具体的な支援内容について、実施の有無を選択してください。また、実施している具体的な支援内容を選択してください。	
①相談業務(有/無)	当事者向け：継続的な支援(関係づくりや声かけ)・生活能力の評価・ 医師の診立て・医療へのつなぎ・居場所へのつなぎ・ 福祉サービス等の導入支援・生活困窮に関する支援・ 親亡き後への準備(成年後見制度の導入等)・安否確認・ その他() 家族向け：継続的な支援(家族フォロー)・生活困窮に関する支援・ 親亡き後への準備(成年後見制度の導入等)・ 家族会等へのつなぎ・その他()

②場の提供（有 / 無）	当事者向け：居場所の提供・活動場所の提供（プログラム活動等）・ 交流の場の提供・その他（ ） 家族向け：交流の場の提供・ひきこもりに関する学習の場の提供・ その他（ ）
③進学・学習支援（有 / 無）	学習の場の提供・進学相談・その他（ ）
④就労支援（有 / 無）	生活訓練・職業訓練・就職相談・ボランティアや職業体験SSTなどの対 人スキルトレーニング・就労の場の開拓・その他（ ）
⑤一般市民向けの普及啓発活動（有 / 無）	インターネットによる情報発信・講演会や研修会の開催・広報物（パン フレット等）の配布・その他（ ）
⑥支援者の技術向上支援（有 / 無）	研修や講演会の主催・事例検討会・インターネットによる情報発信・そ の他（ ）
⑦他機関連携（有 / 無）	電話や面接による情報共有・様式を活用した連携・紹介先への同行・関 係者会議の開催・地域資源の開拓（民間企業との連携等）・市外関係機 関との連携（連絡会等含む）・地域支援ネットワークの構築のための仕 組みづくり・地域課題に対する協議の場の開催・広域連携・その他（ ）
⑧【⑦で有と回答した方にお伺いします】 連携先はどちらになりますか。連携している機関を選択して ください（複数回答）	【連携先】 ①市役所（〇〇課、〇〇課、〇〇課、〇〇課） ②医療機関（病院・クリニック・訪問看護ステーション等） ③教育機関（小学校・中学校・高校・大学・専門学校等） ④福祉関連事業所（包括支援センター・社会福祉協議会・地域活動支援 センター・通所事業所・相談支援事業所等） ⑤就労関連事業所（就労移行支援事業所・ハローワーク等） ⑥都機関（保健所・東京都ひきこもりサポートネット・東京都総合精神 保健福祉センター等） ⑦その他（ ）（ ）（ ）
⑨その他の支援方法があればご記入ください（有 / 無）	その他（ ）
3. ひきこもりに関する個別支援の実績について、以下2つの事例タイプ別にお答えください。 （令和〇年〇月～令和〇年〇月に対応した事例）	
（1）事例タイプ別の支援対象者数を教えてください。	
① タイプA：自機関以外の機関につないだ事例（ ）件	
② タイプB：他機関につながらず自機関のみで支援している事例（ ）件	
③ タイプA、Bのいずれにもあてはまらない事例（ ）件	
（2）タイプA「自機関以外の機関につないだ事例」の支援状況を教えてください。	
①主たる支援対象者の内訳を教えてください。（実数）	当事者（ ）件、家族（ ）件、関係機関（ ）件、 その他（ ）件
②支援した当事者の年齢別の件数を教えてください。（実数）	①12歳以下：実（ ）件 ②13～15歳：実（ ）件 ③16～18歳：実（ ）件 ④19～29歳：実（ ）件 ⑤30～39歳：実（ ）件 ⑥40～49歳：実（ ）件 ⑦50～59歳：実（ ）件 ⑧60～64歳：実（ ）件 ⑨65歳以上：実（ ）件 ⑩年齢不明：実（ ）件
③当事者のひきこもり開始年齢別の件数を教えてください。 （実数）	①12歳以下：実（ ）件 ②13～15歳：実（ ）件 ③16～18歳：実（ ）件 ④19～29歳：実（ ）件 ⑤30～39歳：実（ ）件 ⑥40～49歳：実（ ）件 ⑦50～59歳：実（ ）件 ⑧60～64歳：実（ ）件 ⑨65歳以上：実（ ）件 ⑩年齢不明：実（ ）件

④令和〇年〇月〇日時点での支援期間を教えてください。 (実数)	1年未満 () 件、1年以上3年未満 () 件、 3年以上5年未満 () 件、5年以上10年未満 () 件、 10年以上 () 件 総数 () 件
⑤令和〇年〇月〇日時点での支援状況を教えてください。 (実数)	①支援継続中 () 件、②終了している () 件
⑥【⑤で終了していると回答した事例についてお伺いします】 支援終了理由別の支援（相談）件数を教えてください。(実数)	①本人が居場所や当事者会につながったため () 件 ②ボランティアや地域活動、就学就労等につながったため () 件 ③家族会につながったため () 件 ④福祉サービス・相談支援につながったため () 件 ⑤医療機関につながったため () 件 ⑥支援終了について本人・家族と相談員の間で合意が得られたため () 件 ⑦本人または家族と連絡がつかなくなった、支援継続を拒否したため () 件 ⑧自機関で支援する終了年齢に達したため () 件 ⑨転居等により移管となったため () 件 ⑩死亡 () 件 ⑪その他 () () 件
⑦支援開始当初の状態について、支援件数が多い順に番号をつけてください。	①自室からほとんど出ない () ②自室からは出るが、家からは出ない () ③近所のコンビニなどには出かける () ④趣味の用事のときだけ外出する ()
(3) タイプB「他機関につながらず自機関のみで支援している事例」の支援状況を教えてください。	
①主たる支援対象者の内訳を教えてください。(実数)	当事者 () 件、家族 () 件、関係機関 () 件、その他 () 件
②支援した当事者の年齢別の件数を教えてください。(実数)	①12歳以下 : 実 () 件 ②13～15歳 : 実 () 件 ③16～18歳 : 実 () 件 ④19～29歳 : 実 () 件 ⑤30～39歳 : 実 () 件 ⑥40～49歳 : 実 () 件 ⑦50～59歳 : 実 () 件 ⑧60～64歳 : 実 () 件 ⑨65歳以上 : 実 () 件 ⑩年齢不明 : 実 () 件
③当事者のひきこもり開始年齢別の件数を教えてください。 (実数)	①12歳以下 : 実 () 件 ②13～15歳 : 実 () 件 ③16～18歳 : 実 () 件 ④19～29歳 : 実 () 件 ⑤30～39歳 : 実 () 件 ⑥40～49歳 : 実 () 件 ⑦50～59歳 : 実 () 件 ⑧60～64歳 : 実 () 件 ⑨65歳以上 : 実 () 件 ⑩年齢不明 : 実 () 件
④令和〇年〇月〇日時点での支援期間を教えてください。 (実数)	1年未満 () 件、1年以上3年未満 () 件、 3年以上5年未満 () 件、5年以上10年未満 () 件、 10年以上 () 件 総数 () 件
⑤令和〇年〇月〇日時点での支援状況を教えてください。 (実数)	①支援継続中 () 件、②終了している () 件
⑥【⑤で終了していると回答した事例についてお伺いします】 支援終了理由別の支援（相談）件数を教えてください。 (実数)	①本人が居場所や当事者会につながったため () 件 ②ボランティアや地域活動、就学就労等につながったため () 件 ③家族会につながったため () 件 ④福祉サービス・相談支援につながったため () 件 ⑤医療機関につながったため () 件 ⑥支援終了について本人・家族と相談員の間で合意が得られたため () 件 ⑦本人または家族と連絡がつかなくなった、支援継続を拒否したため () 件 ⑧自機関で支援する終了年齢に達したため () 件 ⑨転居等により移管となったため () 件 ⑩死亡 () 件 ⑪その他 () () 件

⑦支援開始当初の状態について、支援件数が多い順に番号をつけてください。	①自室からほとんど出ない（ ） ②自室からは出るが、家からは出ない（ ） ③近所のコンビニなどには出かける（ ） ④趣味の用事のときだけ外出する（ ）
-------------------------------------	--

Ⅱ. ひきこもり支援を展開する中で感じておられることについて教えてください。

1. 当事者や家族の支援にあたり課題であると感じたことを教えてください。(複数選択可)

(1) 当事者の課題として感じるものを選択してください。

- ①家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない
- ②障害や特性等により支援に限界を感じる
- ③社会経験の乏しさにより集団の場や社会適応が難しい
- ④相談・支援に至るまでに長期間経過しているため対応が難しい
- ⑤当事者が抱える悩みが多岐に渡っているため対応に時間がかかる
- ⑥地域に当事者に合った参加の場がない
- ⑦その他（ ）

(2) 家族の課題として感じるものを選択してください。

- ①家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう
- ②家族自身の特性等によりコミュニケーションが困難である
- ③家族が当事者理解に乏しく、現実的な支援が難しい
- ④相談・支援に至るまでに長期間経過しているため対応が難しい
- ⑤家族が抱える悩みが多岐に渡っているため対応に時間がかかる
- ⑥地域に家族に合った参加の場がない
- ⑦家族が相談・支援を望んでいない
- ⑧その他（ ）

(3) 医療面の課題として感じるものを選択してください。

- ①医療が必要と思われるが繋がらない
- ②訪問型医療が提供できない（使える資源がない）
- ③自機関の体制の問題等により、医療面での診立てができない
- ④受診はできているが課題の解決につながらない
- ⑤病状等の評価が不十分
- ⑥その他（ ）

2. ひきこもり支援において、他機関と連携する上で課題と感ずることをお聞かせください。

3. ひきこもり支援全体を通して、あるとよいと考える支援や関係機関があれば具体的にお聞かせください。

2 ひきこもり支援に関するヒアリング調査シート

機関名：

対応者：

1. 相談体制、対象者像について

例) どういう職種がひきこもり支援に携わっていますか。
どういったケースを「ひきこもり」と認識していますか。

--

2. 各機関の行っている支援内容、業務内容の規模、重点事業を確認

例) 支援方法（電話、面接、訪問、メール等）についての、割合はどの程度ですか。
学習支援の場面には、何名くらいの利用者がいますか。今後、拡大・充実する事業がありますか。

--

3. 連携している関係機関の中で、どの関係機関との連携が多いですか。（上位3つ）

--

4. 支援のはざまに落ちている事例がないか、詳細を聞く。

- ・ひきこもり支援対象者の詳細を教えてください。
- ・下記5つのうち当事者の心身の状態で多いものはどれですか。（3つの事例タイプ別に上位3つ）
 - ① 精神疾患を有する、疑いがある
 - ② 知的障害を有する、疑いがある
 - ③ 発達障害を有する、疑いがある
 - ④ 身体障害を有する、疑いがある
 - ⑤ ①～④を重複して有する、疑いがある
 - ⑥ 診断や疑いはなし、もしくは診立てることが困難
- ・支援終了と判断する基準はありますか。判断に迷う、課題を感じながらも終了とする事例はありますか。

--

5. 連携の方法、他機関から期待されている役割、事例をタイプ別に確認

例) 他機関に紹介した場合、または紹介された場合、その機関とその後どのように連絡をしていますか。
連携した結果うまくいった事例はありますか。連携先がない、うまく繋がらない事例はありますか。

--

6. 連携の課題を確認

例) 具体的にどのような機関と連携が難しいと感じましたか。また、その理由を聞かせてください。
(適切に他機関の紹介ができない・連携にあたり敷居の高さを感じる・共通の課題意識がもてないと感じる・支援ゴールが合わない・自機関または他機関のWEB環境が十分でないため連携が図りにくい等)

--

7. ひきこもり支援についての強みと全体の課題について

例) ひきこもり支援について全体的にどう感じていますか。
(ここは出来るけど、ここは難しい、こんな支援があるとよい等)

--

3 ひきこもり支援事例シート

No.		記入内容のポイント	1	2
機関名		回答者の所属機関		
対象者情報	年齢			
	性別			
相談・支援状況	相談者・関係機関	本人、家族、支援に関わった関係機関など		
	相談につながったきっかけ	初回相談者は誰か/なぜ（どこで知り得た）この機関に相談に来たのか/どのような理由・目的で相談に来たのか/これまで別の機関に相談歴はあるのか・相談自体初めてなのか など		
	事例概要	初回相談時の本人の状況（自宅での過ごし方、外出の有無、交友関係の有無など）/ひきこもり状態になるまでの経緯/家族の状況（本人との関係性、家族関係など）/本人・家族の希望や困りごと/精神疾患・知的障害・発達障害の有無（疑い含む）など		
	直近の状況（支援終了後の場合は終了時の状況）	支援中 or 支援終了		
どのような支援を経て、本人や家族の状況が変化したか/本人や家族の特徴を捉えた印象的なエピソード/今後の支援方針/支援終了の判断に至った理由 など				
（※好事例バージョン）	本人・家族対応に関して自機関の機能や役割が支援の展開に効果をもたらしたと思うこと	支援経過において、自機関の専門職・事業・ノウハウが活かされたと思うこと、自機関の強みが活かされたと思うこと など		
	関係機関との連携・社会資源の活用に関して自機関の機能や役割が支援の展開に効果をもたらしたと思うこと	支援経過において、日頃から連携を図っている他機関に自機関からケース相談をした、本人や家族を繋いだなどのエピソード/自機関が把握している社会資源情報を提供したなどのエピソード など		

（※困難事例バージョン）	本人・家族対応に関して対応に苦慮したこと、支援に悩んだこと、困ったこと	支援経過において、本人・家族の特性が理由で支援に苦慮したこと/自機関の専門職・事業・ノウハウの活用が適さなかったエピソード など		
	関係機関との連携・社会資源の活用に関して対応に苦慮したこと、悩んだこと、困ったこと	支援経過において、自機関から他機関に相談したい、本人や家族を繋げたいと思ったが、情報や連携の乏しさにより悩んだこと/本人や家族の状況に合いそうな他機関、社会資源がないため困ったこと など		

5 ひきこもり支援ネットワーク推進のためのグループワークシート

1	日ごろ行っているひきこもり支援について、「伴走型支援」および「課題解決型支援」に分けて、具体的な内容を記載してください。
	<p>【伴走型支援】 繋がること・繋がり続けること自体に重みがある支援（悩みの共有・寄り添いなど）</p>
2	ひきこもり支援における貴機関の「強み」は何ですか。
3	ひきこもり支援における貴機関の「弱み」は何ですか。
4	ひきこもり支援において貴機関が多機関連携を図る上で大切にしていることは何ですか。
5	3について、他の機関が実施すると支援が繋がる/支援が広がる/支援が手厚くなること、他機関と一緒に取り組みたいことはありますか。
6	他機関と連携して取り組みそうなこと、取り組めるとよいと思うことはありますか。
7	今後ひきこもり支援に関して貴機関で取り組みそうなことはありますか。